

Ⅲ. 令和2年度「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用した施策の成果について

※空欄の行については、削除となった事業です。国へ報告している実施計画通りに記載しております。

No.	事業名	カテゴリ	担当課
1	飲食観光業等緊急支援金交付事業	事業者支援	企画課
2	令和2年度瀬戸内町“ささえ愛”クーポン事業	住民支援	商工交通課
3	医療従事者等安全確保対策事業(各機関に対する感染防止対策)	感染防止	消防分署・保健福祉課・教委総務課
4	医療従事者等確保対策事業(医療従事者特勤手当)	医療従事者確保	へき地診療所
5	離島遠隔医療支援対策事業(遠隔診療)	アフターコロナ	へき地診療所
6	学校のICT環境整備(指導者用PC整備)	アフターコロナ	教委総務課
7	奄美群島振興交付金(海中清掃)	事業者支援	水産観光課
8 42	奄美群島振興交付金(魅力体験・観光促進)・・・広域事務組合への負担金 奄美群島振興交付金(魅力体験・観光促進)・・・広域事務組合への負担金	事業者支援	広域事務組合(企画課)
9	公立学校情報機器整備費補助金(GIGAスクールサポーター)	アフターコロナ	教委総務課
10	公立学校情報機器整備費補助金(遠隔教育)	アフターコロナ	教委総務課
11	学校保健特別対策事業費補助金	感染防止	教委総務課
12	学校臨時休業対策費補助金(給食キャンセル違約金等)	事業者支援	給食センター
13	無線システム普及支援事業費等補助金	アフターコロナ	企画課
14	子ども・子育て支援交付金	事業者支援	町民生活課
15			
16	GIGAスクール端末導入事業(1人1台のPC整備)	アフターコロナ	教委総務課
17	持続可能なちいきづくりに向けた戦略拠点形成事業(テレワーク施設拠点整備など)	アフターコロナ	企画課
18	ドローンを活用した物資輸送等実証実験事業	アフターコロナ	企画課
19	防災活動支援事業(発電機整備など)	集落支援	総務課
20	避難所における感染防止対策用物資・資材の備蓄支援事業	感染防止	総務課
21	畜産及び関連事業者経営安定対策事業(畜産経営安定対策)	事業者支援	農林課
22	持続可能な自然環境形成事業(外来植物の駆除など)	事業者支援	水産観光課
23	奄美シーカヤック大会応援事業	アフターコロナ	水産観光課
24			
25	移動者・帰省者・医療関係者居場所づくり創出事業	事業者支援	水産観光課
26	非デジタル対応情報提供事業(感染防止周知、広報)・・・広域事務組合への負担金	感染防止	広域事務組合(保健福祉課)
27	公共的空間安全・安心確保事業(水際対策)・・・広域事務組合への負担金	感染防止	広域事務組合(保健福祉課)
28	地域の感染状況を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業	アフターコロナ	へき地診療所
29	図書館サービスの充実	感染防止	図書館

Ⅲ. 令和2年度「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用した施策の成果について

※空欄の行については、削除となった事業です。国へ報告している実施計画通りに記載しております。

No.	事業名	カテゴリー	担当課
30	飲食店応援！エコ素材PR事業(エコ素材の利用促進)	事業者支援	水産観光課
31	窓口申請支援システム整備事業	アフターコロナ	町民生活課
32	令和2年度瀬戸内町商工会プレミアム商品券事業	住民支援	商工交通課
33			
34	瀬戸内町 ストグレセット～コロナに負けるな～	住民支援	農林課
35	感染拡大防止対策事業	感染防止	総務課
36	議会議場設備更新事業	感染防止	総務課
37			
38			
39			
40	瀬戸内町飲食業緊急支援金事業	事業者支援	企画課
41			
42	No.8と同等です。		

令和2年度「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用した施策の成果について

令和2年度、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施できるよう、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」が創設されました。

本町におきましても、事業者支援や住民支援、またアフターコロナにおける地域経済の活性化に資する事業など、35事業の計画を策定し、実施して参りました。(一部については、令和3年度への繰越事業となっております。)

以下、令和2年度「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用した各施策の成果について、ご説明いたします。

●事業No.1 「飲食観光業等緊急支援金交付事業」

感染症拡大の影響を受け、経済的打撃をうけている町内の飲食・観光業等事業者に対して、支援金を給付する事で、地域経済の維持・継続を図る目的で実施した。

飲食・観光業者253事業所に一律100千円を支給し、影響が深刻な宿泊業者49事業者に対しては追加で75千円を支給した。県下でもいち早く町独自の支援を実施する事ができた。

●事業No.2 「瀬戸内町“ささえ愛”クーポン事業」

新型コロナウイルスの影響により収入の減少等を余儀なくされている瀬戸内町民への生活支援と景気対策、更には地元消費拡大・地域の経済活性化を図るため、瀬戸内町民全員を対象にクーポンを発行した。

発行総額44,340千円のうち換金額43,287千円(換金率97.6%)と、多くの町民の皆様に利用され、本事業の目的に寄与することができた。

●事業No.3 「医療従事者等安全確保対策事業」

各機関における感染症拡大予防対策として、感染防護服や消毒液、サージカルマスク、非接触型体温計の整備を実施した。

一部、供給不足により翌年度への繰越もあったが、概ね当初の予定通り整備することができ、感染拡大防止対策を図ることができた。

●事業No.4 「医療従事者等確保対策事業(医療従事者特勤手当)」

医療現場において感染の危険と隣り合わせで新型コロナウイルス感染症患者の治療等を行う医療従事者に対して、他の支援施策の対象とならない部分について、医師・看護師の活動環境を支えるための支援として実施。

感染拡大防止が図られたため、当予算においては多くが執行残となった。

●事業No.5 「離島遠隔医療支援対策事業（遠隔診療）」

離島における医療提供体制の構築のため、遠隔診療機器や施設を整備する目的で事業を実施した。

与路看護師住宅の完成は翌年度に持ち越しとなったが、看護師の常駐や遠隔診療機器の整備が図られたことで地域住民の安心できる生活基盤の整備に寄与した。

●事業No.6 「学校のICT環境整備（指導者用PC整備）」

GIGAスクール構想の実現へ向け、指導者用端末の整備を行い、オンライン学習等への体制構築を図る。

教職員55人分の整備を実施。オンライン学習をはじめ、通常業務の円滑な遂行や、授業における効果的な学習の提供に寄与できた。

また、校務支援システムやグループウェアの導入により、教員の長時間勤務の解消や業務の効率化など、教職員の働き方改革に寄与できた。

●事業No.7 「奄美群島振興交付金（海中清掃）」

感染拡大防止期において本町のメインコンテンツである「海」を、海中清掃等によりブラッシュアップし、満足度向上を図るほか、海中清掃の取り組みやweb配信用イベントを開催し動画配信することで広く情報公開した。

感染拡大終息期において予定していた、観光客の滞在促進に繋げる目的で実施する、美しい自然資源を有効活用した「奄美満喫ツアー」は、令和3年度への繰越事業となった。

また、医療の最前線で活躍している医療従事者の皆様への応援と感謝の気持ちとして、更に感染拡大予防対策の啓発のため、「コロナ退散花火」の打ち上げを実施した。

本事業を機に、観光協会や商工会などとの連携を深め、官民一体となって地域特性を活かした観光振興へと繋げるほか、コロナ禍で落ち込んだ観光業等への経済的支援に繋げることができた。

●事業No.8 「奄美群島振興交付金（魅力体験・観光促進）」（広域への負担金）

認定エコツアーガイドと地域通訳案内士の連携によるスキルアップを図ると

ともに、オンラインツアーの実施、ガイドツアーに特化した動画の政策配信による観光客（インバウンド含む）へのPR及びモニターツアーを実施することで観光客の誘致・満足度向上及び滞在促進を図る目的として実施。

検討会（3回）や、外国人向けモニターツアーを開催した。

アンケート集計の結果を踏まえ、観光客に更なるエコツアーのアピールを行い、潜在顧客の掘り起こしに繋げていく。今後、認定エコツアーガイドや地域通訳案内士の更なるスキルアップのため、研修の受講や、自分の島のフィールドの見識を深めるため、積極的に他のエリアのガイドと交流を図っていく。

●事業No.9「公立学校情報機器整備費補助金（GIGAスクールサポーター）」

学校におけるICT環境整備の初期対応を行う目的として、GIGAスクールサポーターを配置したことで、GIGAスクール構想による各種整備をスムーズに行うことができた。また、学校におけるICTを活用した授業を実施することができた。

令和3年度は、ICTサポーターとして2名を配置し、教職員のICT授業のサポートや校務支援、児童・生徒のICTを活用した授業の支援等を行う。

●事業No.10「公立学校情報機器整備費補助金（遠隔教育）」

臨時休校時などにおいて、学校と児童・生徒とのやり取りを円滑にする目的で、町内18校分のカメラ・マイクの購入を実施した。

児童・生徒や各地区の学校との情報通信（会議等）をオンラインで行うことができ、学習環境整備を実施することができた。

●事業No.11「学校保健特別対策事業費補助金」

学校での感染防止対策、修学旅行時の3密防止対策として、町内各小中学校、公立幼稚園へ消毒液と非接触型体温計の配布を実施、また、修学旅行におけるバス増便の借上料の負担を実施した。

●事業No.12「学校臨時休業対策費補助金（給食キャンセル違約金等）」

教育機関の臨時休業期間における学校給食（食材費）のキャンセル費等に活用できた。

●事業No.13「無線システム普及支援事業費等補助金」

町民生活の利便性向上や地域活性化のため、加計呂麻島鎮西地区及び嘉徳地区の光ファイバ網を整備する。

事業決定と工期の関係により、令和3年度への繰越事業となった。

●事業No.14「子ども・子育て支援交付金」

新型コロナウイルス感染症対策臨時休業特別開所支援及び感染拡大防止に配慮した相談支援体制強化を目的として実施。

放課後児童クラブ開所費用や、人材確保支援として補助金を交付した。

●事業No.16「GIGAスクール端末導入事業（1人1台のPC整備）」

GIGAスクール構想実現へ向け、児童生徒1人1台の端末整備を実施した。

デジタル教科書等の活用による子どもの学びの深まり、個々に応じた学習支援の充実、AIを活用した授業の充実など、誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びを可能とすることができた。

●事業No.17「持続可能なちいきづくりに向けた戦略拠点整備事業」

コロナ禍における「新たな生活スタイル」への転換のため、戦略拠点としてサテライトオフィスを整備する。また、感染対策を講じる都市圏の企業等に対する新たな働き方への支援や、BCP対策への支援としてICTを活用したテレワークスペースを整備し、二拠点生活の促進を図る。更に、「ワーケーション」「町民の新たな働き方」の推奨のため、人材交流による官民連携強化で、瀬戸内町ならではの「自然文化・食」の付加価値を高める戦略を実行することにより、持続的に新しい人の流れをつくり、「町民が安心して暮らせる町」「自然環境の保全」「地域経済の好循環・活性化」の確立を図るために実施した。

令和2年度においては、「すこやか福祉センター」設計業務委託契約、また「FMせとうち」の、海の駅1Fへの移転に係る事業の一部を実施した。

また改修した施設の利用促進や、地域内経済の好循環を創出する各種施策を効率的・効果的に実施するため指定管理者制度を導入した。（公募により業者を選定し、オンラインにてプレゼンテーションを実施し、最終候補者を決定。）

令和3年度においては、町内における新たなテレワークスペースや宿泊施設整備への助成を目的とした「空間リニューアル助成事業」やSDGs社会への実現へ向けた取組を行うことで、ワーケーション参加企業への誘致を目的とした「藻場育成」や「水素発電システムの導入」などを合わせて実施していく。（令和3年度への繰越事業となる。）

●事業No.18「ドローンを活用した物資輸送等実証実験事業」

台風などで船舶交通が欠航した時、加計呂麻島・請島・与路島（以下、「3島」という。）へ生活物資等を運ぶ手段がなくなってしまう。また、3島で生産された農林水産物を出荷する際、奄美大島へ輸送する費用がさらに加算されるため、

島内消費に留まっている。そこで、地理的不利性の是正を図り3島の地域経済を活性化させるために、ドローンのような新技術を導入することで、新たな生活スタイルの確立を目指していく。

令和2年度は、町及び日本航空株式会社をはじめとする4社と「ドローン活用に向けた連携協定」の締結(R2.10月)を行った。また、地元の意見を本事業に反映させるため、「ドローンを活用した持続可能な地域づくり協議会」を設立(R3.1月)するとともに、連携協定に基づいて「瀬戸内町エアモビリティ事業推進協議会」が設立(R3.2月)された。R3.3月には町民の意見を集約するため、「ドローン活用に向けたワークショップ」を実施し、さらに町内事業所へのヒアリングも行った。

令和3年度は、昨年度の協議内容等を踏まえ、当事業をより具体的に推進していくため、「ドローンを活用した持続可能な地域づくり協議会」及び「瀬戸内町エアモビリティ事業推進協議会」と連携し、事業の深化を図っていく。

●事業No.19「防災活動支援事業（発電機整備など）」

台風・大雨時には停電が長期化する。このため、避難所の衛生管理や避難者の健康観察等を目的に非常用電源の確保のための発電機整備、併せて避難所での熱中症対策及び換気を目的に大型扇風機の整備を実施。

発電機46台、大型扇風機10台を購入した。発電機は、町内38集落に設置。残りの8台及び大型扇風機10台を古仁屋地区の避難所用として確保した。

●事業No.20「避難所における感染防止対策用物資・資材の備蓄支援事業」

避難所における公共空間での感染機会の削減に努め、避難者間のスペースを確保し感染防止対策を図ることを目的として実施。

消毒液60本、避難所用間仕切り・簡易ベットを各20組、非接触型体温計2本を購入した。

●事業No.21「畜産及び関連事業者経営安定対策事業（畜産経営安定対策）」

コロナ禍による、販売価格の低下など、経済的打撃を受けた本町畜産農家に対して助成を行うことにより、事業継続を支援する目的で実施。

濃厚飼料などの購入に係る経費を実態に応じて助成した。

助成対象条件を満たす17戸の方に助成金を交付することができた。

●事業No.22「持続可能な自然環境形成事業（外来植物の駆除など）」

「コロナ拡大防止期」におけるエコツアーガイド事業者等による国立公園及び観光地内等町内一円における外来植物の侵入状況の調査や防除、地域住民等へ

の啓発活動を実施してもらうことで、自然環境・生態系の保全と魅力向上を図り、「収束期」において美しい自然資源を有効活用した自然体験型観光メニュー利用の満足度向上により観光客の誘客・滞在促進を目的として実施。

国立公園及び観光地内等町内一円における外来植物の侵入状況の調査や防除、地域住民等への啓発活動を実施したことで、自然環境・生態系の保全と世界自然遺産登録への取り組み、外来種対策等啓発を図ることができ、外来種分布マップの作成及び「コロナ拡大防止期」におけるエコツアーガイド事業者等の雇用促進を図ることができた。

●事業No.23「奄美シーカヤック大会応援事業」

2020 奄美シーカヤックマラソン IN 加計呂麻大会が中止になったことで、来年度の参加者の減が懸念されるため、次年度以降の参加者を増やし、町の活性化に資することを目的として実施。

鹿児島空港や、県観光協会などでPR活動を行うとともに、各協賛会社へ次年度の協賛依頼を行った。

また、シーカヤックのコース案内PVを作成し、多くの方に情報発信することができた。

●事業No.25「移動者・帰省者・医療関係者居場所づくり創出事業」

海外や県外にいた家族などが地元へ帰省した際に、同居する家族や地域を守るため、一時的に宿泊施設等に滞在する場合において、本町がその施設等を借り上げて提供、または宿泊費等を助成し、宿泊産業の支援と帰省する家族等の居場所づくりを創出する（医療者・医療従事者含む）ことを目的として実施。

事業活用対象者が少なかったため、一部を令和3年度への繰越事業とした。

●事業No.26「非デジタル対応情報提供事業（感染防止周知・広報）」（広域への負担金）

感染症予防のための紙うちわや、新聞広告などの広報活動費として負担した。

●事業No.27「公共的空間安全・安心確保事業（水際対策）」（広域への負担金）

奄美空港・名瀬港での水際対策を行い、到着者の検温及び基準値以上の体温のある到着者に対する滞在先や連絡先の聞き取り調査を行い、滞在中の体調等の追跡調査を実施した。

●事業No.28「地域の感染状況を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業」

発熱外来の設置や施設整備を行い、医療機関体制の構築を図ることを目的として実施。

令和2年度においては、必要医療機器の購入や施設の修繕、施設延命対策などを実施したが、一部、令和3年度への繰越事業となった。(施設防水工事)

●事業No.29「図書館サービスの充実」

感染症予防対策として、「読書環境の整備」を実施。また、在宅で過ごす時間を豊かなものにし、「新たな生活様式」に対応するため、蔵書を増やし、宅配(郵送)による貸出実施や貸出文庫等の充実を図ることを目的として実施。

読書環境を整備したことにより、利用者が安心して図書館を利用できる環境を作ることができた。特に「図書除菌機」とコロナで休館したときの「図書の宅配サービス」は喜ばれた。

●事業No.30「飲食店応援！エコ素材PR事業(エコ素材の利用促進)」

町内飲食店に、国産間伐材を利用した割り箸やバガストレー(容器)を提供し、感染症対策への支援を図るとともに、世界自然遺産登録を目指している奄美大島で、森林保護及び地球温暖化防止につながるエコ素材の利用推進を図り、「自然保護」の取り組みを町内外へPRすることを目的に実施した。

町内飲食店事業所(特にテイクアウトを展開している事業所)に対して説明会を開催し、アンケートにより「バガストレーと国産割りばし」を35の希望事業者へ無料配布することができた。

●事業No.31「窓口申請支援システム整備事業」

新しい生活様式に対応できるよう行政窓口手続きのスマート化、デジタル化を推進し、住民の負担を軽減するとともにクラスター感染の防止等コロナ拡大を可能な限り抑えることを目的とする。

令和2年度においては、帳票の選択等を行い業務委託契約を締結した。コロナ禍の影響等により機器の確保等が困難なため、令和3年度への繰越事業となった。

●事業No.32「令和2年度瀬戸内町商工会プレミアム商品券事業」

域内での消費喚起を目的にプレミアム率を50%とした商品券を販売することにより、地元消費拡大、地域の経済活性化を図ることを目的として実施した。

●事業No.34「瀬戸内町ストグレット～コロナに負けるな～」

来島者等に対し、来島自粛要請などによる感染防止対策への協力のお礼と、これからの更なる協力の依頼を行うことで、奄美大島(瀬戸内町)へのコロナウイ

ルスの侵入を防ぎ、安心して来島していただき、地域経済の活性化を図ること、また、故郷への帰省を自粛し頑張っている学生を対象に本町の特産品をお届けする事によって、郷土愛を高め、将来地元の為に活躍する人材を創ることを目的として実施。

令和2年度においては、奄美せとうち地域公社を委託先として、送付の品、特産品等の選定作業と募集期間についての設定を行った。また、宿泊施設へ島外宿泊者への事業内容の説明と送付確認を依頼した。一部、令和3年度への繰越事業となる。

●事業No.35「感染拡大防止対策事業」

主に庁舎内での会議等における感染症予防のための資材を購入し、飛沫拡散を防ぐことで感染拡大防止対策を図ることを目的として実施。

●事業No.36「議会議場設備更新事業」

議会傍聴の分散化を図るため、既存のアナログ設備をデジタル化し、議会の動画配信においてクリアな映像と音声を届け、議場における傍聴者の削減による3密対策及び町民の安心と安全な環境を確保する。また、議員等へタブレットを配布することで委員会等のリモート化を促進し、密を防ぐことで感染症対策を図ることを目的として実施。

議員用タブレット10台、執行部用タブレット23台の購入、また議場内のマイクや映像配信用のカメラの更新を実施できた。

●事業No.40「瀬戸内町飲食業緊急支援金事業」

本町において新型コロナウイルス感染者が発生した事による、飲食業者の売上減少への特別措置として飲食業者限定で支援を行うことを目的として、1律10万円の支援金の支給を実施した。

●事業No.42「奄美群島振興交付金（魅力体験・観光促進）」（広域への負担金）

あまみシマ博覧会の助成を行うことで滞在促進の流れを作る。さらにワーケーションを行うことで奄美群島に来島する観光客の増加を図り、滞在型観光促進につなげていくことを目的として実施。

令和2年度においては、ワーケーションに関する実態調査、広告展開、実証モニターツアー等を実施した。受入側やターゲットの実態調査、実証モニターツアー、意見交換会などの結果を踏まえ、今後の「奄美群島ワーケーション」における課題や目標等を整理し、段階的に解決・達成できるよう中長期での計画案を作成し、「奄美群島ワーケーション」事業推進を図っていく。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	企画課	係名	企画振興係
----	-----	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	一般会計
事業名	1	瀬戸内町飲食・観光業等緊急支援金事業	
施策の目的	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、経済的打撃をうけている町内の飲食・観光業等事業者に対して、支援金を給付する事により、地域経済の維持・継続を図る。		
具体的な施策内容	町内に事業所を有している飲食・観光業者のうち、令和2年3月・4月の売上が前年度同月比で15%以上の減収があった事業者に対し、一律10万円を支給する。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	21	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	2	飲食・観光業等緊急支援金				30,000	11	地方創生臨時交付金				30,000					
計						30,000	計						30,000				

【評価】

●飲食・観光業者253事業所に一律100,000円を支給し、影響が深刻な宿泊業者49事業者に対しては追加で75,000円を支給した。県下でもいち早く町独自の支援を実施する事ができた。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	商工交通課	係名	商工交通係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	2	令和2年度瀬戸内町“ささえ愛”クーポン事業	
施策の目的	新型コロナウイルスの影響による収入の減少等を余儀なくされている瀬戸内町民への生活支援と、景気対策のため、地元消費拡大、地域の経済活性化を図るため、瀬戸内町民全員を対象にクーポンを発行する。		
具体的な施策内容	一人あたり5千円のクーポン(1枚あたり500円の10枚綴り)×8,868人(R2.4.27現在)を発行する。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	21	事業	2	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	節	費目名				金額					
10		需用費				460	11	地方創生臨時交付金				46,600					
11		役務費				2,908		(一般財源)				55					
18		負担金				43,287											
		計				46,655		計				46,655					

【評価】

●瀬戸内町“ささえ愛”クーポン事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の中、外出自粛を余儀なくされている町民の生活支援を第一の目的に、本事業の取扱店舗に登録された事業所において幅広い分野で使用できるよう対応した。(商工会会員、非会員、その他大型チェーン店)
発行総額44,340,000円のうち換金額43,287,000円(換金率97.6%)と、町民の多くの皆様に利用された。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	保健福祉課	係名	庶務・医事
----	-------	----	-------

会計区分	特別会計	会計名	瀬戸内町巡回診療施設特別会計
事業名	5	離島遠隔医療支援対策事業	
施策の目的	離島における遠隔診療機器や施設を整備し、医療提供体制を確保する。		
具体的な 施策内容	遠隔診療機器整備1,154千円 離島における関連施設整備39,946千円 (工事費他36,690千円・設計費3,256千円)		

【経費内訳】

款	1	項	1	目	1	事業	4	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額			細節	費目名							
10	5	修繕料				860			011	地方創生臨時交付金						41,061	
12	28	設計監理委託料				1,705											
12	29	地質調査委託料				198											
13	1	車両船舶借上料				68											
14	1	工事請負費				10,400											
17	3	管理用備品購入費				294											
		R3への繰越額				27,536											
計						41,061			計						41,061		

【評価】

●本事業の実施により、離島における医療提供体制が図られた。
[R3への繰越事業となる。]

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	水産観光課	係名	観光振興係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	7	瀬戸内町体験型観光メニュー利用者促進事業	
施策の目的	コロナウイルス感染拡大防止期において本町のメインコンテンツである「海」を海中清掃等によるブラッシュアップを実施し、満足度向上を図るほか、海中清掃の取り組みやweb配信用イベントを開催し動画配信することで広く情報配信する。「終息期」において美しい自然資源を有効活用した「奄美満喫ツアー」を実施し、観光客の滞在促進に繋げる。		
具体的な施策内容	近年マイクロプラスチックなどの漂着ゴミや違法投棄された海中ゴミ等が大島海峡の美しい海に悪影響を及ぼしているため、平時では実施困難な海中清掃を実施し、美しい海を活用した観光メニュー等により観光客の満足度の向上を図った。また、youtubeなどを活用して、海中清掃の取り組みなどの情報発信した。 「コロナの終息を願うとともに、医療従事者の皆様への感謝とコロナに負けずに頑張ろう！」の思いを込めて、コロナ退散花火を町内2カ所(古仁屋港・瀬相港)で同時に行った。		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	9	事業	1	(単位:千円)	款	15	項	2	目	5	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
10		需用費				183	13	国費				31,848					
12	320	体験型観光利用促進委託料				48,730		県費				5,307					
12	38	警備委託料				198		地方創生臨時交付金				16,924					
12	318	花火打ち上げ委託料				3,391											
13		使用料・借上料				577											
		R3へ繰越(奄美満喫ツアー分)				1,000											
計						54,079	計						54,079				

【評価】

●コロナウイルス感染拡大防止期において本町のメインコンテンツである「海」を、海中清掃等によるブラッシュアップを図り、満足度向上に繋げることができた。また海中清掃の取り組みやweb配信用イベントを開催し動画配信することで、広く情報配信した。
 コロナウイルスの「終息期」において、観光客の滞在促進につなげる施策として計画した、本町の美しい自然資源を有効活用した「奄美満喫ツアー」については、地域の実情を踏まえ、R3年度への繰越事業とした。
 また、コロナ退散花火を打ち上げることにより、最前線で活躍している医療従事者の皆様への応援と感謝の気持ちを表すとともに、感染予防対策の啓発、実施について呼びかけることができた。
 本事業を機に、さらに観光協会や商工会など官民の連携を深め、一体となって地域特性を活かした観光振興へと繋げるほか、コロナ禍で落ち込んだ観光業等の回復に繋げることができ、有効な事業であった。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
 ～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	企画課	係名	企画振興係
----	-----	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	8.42	奄美群島振興交付金	
施策の目的	<p>No.8「奄美群島エコツーリズム魅力体験事業」 →認定エコツアーガイドと地域通訳案内士の連携によるスキルアップを図るとともに、オンラインツアーの実施、ガイドツアーに特化した動画の政策配信による観光客(インバウンド含む)へのPR及びモニターツアーを実施することで観光客の誘致・満足度向上及び滞在促進を図る。</p> <p>No.42「奄美群島滞在型観光促進事業」 →あまみシマ博覧会の助成を行うことで滞在促進の流れを作る。さらにワーケーションを行うことで奄美群島に来島する観光客の増加を図り、滞在型観光促進につなげていく。</p>		
具体的な施策内容	<p>No.8「奄美群島エコツーリズム魅力体験事業」 →各地区で検討会を実施し、その意見等を踏まえた「外国人向けモニターツアー」を実施した。</p> <p>No.42「奄美群島滞在型観光促進事業」 →ワーケーションに関する実態調査、広告展開、実証モニターツアー等を実施した。</p>		

【経費内訳】

款	項	目	事業	(単位:千円)	款	項	目	節	(単位:千円)
歳出内訳					歳入内訳				
節	細節	費目名	金額		細節	費目名	金額		
		奄美群島エコツーリズム魅力体験事業	369		011	地方創生臨時交付金	781		
		奄美群島滞在型観光促進事業	412						
		計	781			計	781		

【評価】

No.8「奄美群島エコツーリズム魅力体験事業」
 →検討会(3回)や、外国人向けモニターツアーを実施した。
 アンケート集計の結果を踏まえ、観光客に更なるエコツアーのアピールを行い、潜在顧客の掘り起こしに繋げていく。今後、認定エコツアーガイドや地域通訳案内士の更なるスキルアップのため、研修の受講や、自分の島のフィールドの見識を深めるため、積極的に他のエリアのガイドと交流を図っていく。

No.42「奄美群島滞在型観光促進事業」
 →受入側やターゲットの実態調査、実証モニターツアー、意見交換会などの結果を踏まえ、今後の「奄美群島ワーケーション」における課題や目標等を整理し、段階的に解決・達成できるよう中長期での計画案を作成し、「奄美群島ワーケーション」事業推進を図っていく。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	教委総務課	係名	学校教育係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	9	公立学校情報機器整備費補助金	
施策の目的	GIGAスクールサポーターを配置することにより、学校における環境整備の初期対応を行う。		
具体的な 施策内容	・人件費(1,285千円)・旅費(35千円)・消耗品等(20千円)・その他(46千円) 学習用環境整備, 児童生徒タブレットの初期設定, 校務支援システムの構築, ICT授業等の支援		

【経費内訳】

款	10	項	1	目	7	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	7	1	節	5	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳										
節	細節	費目名				金額	細節	費目名											
7	156	報償費				1,285	1	公立学校情報機器整備費補助金				692							
8	3	普通旅費				35													
10	1	消耗品費				1	011	地方創生臨時交付金				694							
	2	燃料費				19													
13	1	車両船舶借上料				46													
計						1,386	計						1,386						

【評価】

- GIGAスクールサポーターを配置することにより、GIGAスクール構想による各種整備をスムーズに行うことができた。また、学校におけるICTを活用した授業を実施することができた。
- R3年度はICTサポーターとして2名を配置し、教職員のICT授業のサポートや校務支援、児童・生徒のICTを活用した授業の支援等を行う。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	教委総務課	係名	学校教育係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	10	公立学校情報機器整備費補助金	
施策の目的	臨時休校等, 学校と児童・生徒とのやり取りが円滑にできるよう整備する。		
具体的な施策内容	カメラ, マイクの購入 18校分		

【経費内訳】																	
款	10	項	2 3	目	4	事業	1		款	14	項	2	目	7 7 1	節	1 2 1	
(単位:千円)								(単位:千円)									
歳出内訳									歳入内訳								
節	細 節	費目名					金額	細 節	費目名					金額			
17	23	カメラ購入費					208	9	公立学校情報機器購入事業費補助金					103			
								011	地方創生臨時交付金					105			
		計					208		計					208			

【評価】	<ul style="list-style-type: none"> ●学校と家庭でのリモートによる学習の効果に寄与できる。 ●コロナ禍による学校の臨時休校時に、オンラインによる授業を実施することにより、児童・生徒の学習への取組を支援できる。 ●本町のような有人離島の地において、各学校との情報通信(会議等)が電話だけでなく、オンラインで行うことができる。
-------------	---

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	教委総務課	係名	総務係
----	-------	----	-----

会計区分	一般会計	会計名															
事業名	11	学校保健特別対策事業費補助金															
施策の目的	学校での感染防止対策 修学旅行時の3密防止対策																
具体的な 施策内容	各小・中学校・公立幼稚園へ消毒と非接触型体温計配布。 修学旅行に伴うバス増便の借り上げ料。																
【経費内訳】																	
款	10	項	2 3	目	1 13	事業	8 10	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	節	費目名				金額					
10	1	消耗品費				195	11	学校保健特別対策事業費補助金				560					
13	1	車両船舶借上料				931		地方創生臨時交付金				566					
計						1,126	計						1,126				

【評価】

- 児童・生徒が安心して学校生活を送れることにより、授業の充実や制限をかけて学校行事等を行うことができた。
- 修学旅行実施や移動時の3密防止に繋がった。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名 教育委員会総務課	係名 給食センター係
----------------	---------------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	12	学校臨時休業対策費補助金	
施策の目的	保護者負担軽減の観点から、原則3月2日から春休みまでの臨時休業期間の学校給食費(食材費)の保護者への返還等について、政府から学校設置者に要請。 保護者への返還や食材のキャンセル費等により学校設置者の負担となる費用に対し、国が補助を行う。		
具体的な施策内容	・事業者に対して、既に発注されていた食材に係る違約金等。 1.給食停止に伴うキャンセルにより、給食用牛乳を製造できなかった分の違約金(370千円) 2.パン・米飯一次加工賃(296千円)		

款	10	項	6	目	2	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	7	節	5	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	2	学校給食費返還等事業費				666	2	学校臨時休業対策費				498					
								地方創生臨時交付金				168					
計						666	計						666				

【評価】
●学校設置者が事業者に対して既に発注されていた食材にかかる違約金等を補償する目的として、補助金を交付した。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	企画課	係名	情報政策係
----	-----	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	13	高度無線環境整備推進事業	
施策の目的	通信環境の地域間格差を解消し、瀬戸内町の地域情報化を推進するため、光ファイバ網を整備し、もって町民生活の利便性向上や地域活性化に資する。		
具体的な施策内容	加計呂麻島鎮西地区及び嘉徳地区の光ブロードバンド情報通信基盤の整備		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	14	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
	節	細節	費目名			金額			細節	費目名					金額		
	18	001	負担金			240,465			011	地方創生臨時交付金					59,306		
										過疎対策事業債					95,000		
										その他一般財源					86,159		
			R3への繰越額			240,465											
			計			240,465				計					240,465		

【評価】

●令和2年12月21日付けでCIAJ(一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会)からNTT西日本へ補助金の交付決定がなされた。交付決定後に事業着手となるが、令和2年度末での事業完了では工期が極めて短く、物理的に不可能であったことから、令和3年3月29日付けでCIAJからNTT西日本に対し、当該事業を令和3年度においても引き続き遂行するよう指示があり、繰越事業として実施しているところである。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	町民生活課	係名	児童母子係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	14	子ども・子育て支援交付金事業	
施策の目的	新型コロナウイルス感染症対策対策臨時休業特別開所支援及び感染拡大防止に配慮した相談支援体制強化を目的とする。		
具体的な施策内容	放課後児童クラブ開所1日11千円×7日=77千円 人材確保支援1日21千円×7日=147千円 利用料減免分1日300円×延べ253名=76千円(一人最大9日間、5月連休時の7日実績253人を参考)		

【経費内訳】

款	3	項	2	目	1	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	2	節	2	3	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名										
18	2	補助金				300	3	国庫補助金				99						
							7	県補助金				99						
								(一般財源)				102						
		計				300		計				300						

【評価】

●本事業の実施により、コロナ禍における共働き家庭等の児童の健全育成が図られた。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	教委総務課	係名	学校教育係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	16	GIGAスクール端末導入事業	
施策の目的	国が定めるGIGAスクール構想に係る1人1台PCの実現		
具体的な施策内容	児童・生徒1人1台タブレットとの整備を実施		

【経費内訳】

款	10	項	2 3	目	4	事業	1		款	項	目	節			
								(単位:千円)							(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳							
節	細節	費目名				金額	細節	費目名							
17	8	パソコン購入費				43,084	9	公立学校情報機器購入事業費補助金				19,795			
							011	地方創生臨時交付金				23,289			
計						43,084	計						43,084		

【評価】

- 児童・生徒1人1台タブレットを整備することにより、デジタル教科書等の活用による子どもの学びの深まり、個々に応じた学習支援の充実、AIを活用した授業の充実など、誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びが可能となる。
- 令和3年度は、キュビナやロイノート等を活用し、学習の充実を図っていく。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	企画課	係名	企画振興係
----	-----	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	17	持続可能なちいきづくりに向けた戦略拠点形成事業	
施策の目的	コロナ禍における「新たな生活スタイル」への転換のため、戦略拠点としてサテライトオフィスを整備する。また、感染対策を講じる都市圏の企業等に対する新たな働き方への支援や、BCP対策への支援としてICTを活用したテレワークスペースを整備し、二拠点生活の促進を図る。更に、「ワーケーション」「町民の新たな働き方」の推奨のため、人材交流による官民連携強化で、瀬戸内町ならではの「自然文化・食」の付加価値を高める戦略を実行することにより、持続的に新しい人の流れをつくり、「町民が安心して暮らせる町」「自然環境の保全」「地域経済の好循環・活性化」の確立を図る。		
具体的な施策内容	・先進地視察旅費(200千円) ・需要費(259千円) ・役務費(100千円) ・拠点整備 基地局改修やリモート環境整備 (71,441千円)→清水地区の施設整備助成含 ・テレワークスペース、宿泊施設の空間リニューアル整備費助成 (10,000千円) ・指定管理者事業運営補助金(10,000千円) ★設計業務委託契約、指定管理者公募を実施。また施設の利用促進や地域内経済の好循環創出へ向けた各種施策を提案・具現化するための協議を官民連携で実施した。		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	12	事業	7	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
10	001	消耗品費				200			011	地方創生臨時交付金				92,000			
		R3への繰越額				91,800											
計						92,000			計						92,000		

【評価】

●既存の公の施設である「すこやか福祉センター」の主に2F部分の改修を目的として、設計業務委託を契約（森設計事務所）。関連し、これまでの「FMせとうち」を、海の駅1Fに移転し、リニューアルを実施する。
 また改修した施設の利用促進や、地域内経済の好循環を創出する各種施策を効率的・効果的に実施するため指定管理者制度を導入した。（公募により業者を選定し、オンラインにてプレゼンテーションを実施し、最終候補者を決定。）
 R3においては、町内における新たなテレワークスペースや宿泊施設整備への助成を目的とした「空間リニューアル助成事業」やSDGs社会への実現へ向けた取組を行うことで、ワーケーション参加企業への誘致を目的とした「築場育成」や「水素発電システムの導入」などを合わせて実施していく。【R3への繰越事業となる。】

令和2年度 主要施策の成果に関する調
 ～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	企画課	係名	産業立地係
----	-----	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	18	ドローンを活用した物資輸送等実証実験事業	
施策の目的	台風などでフェリーが欠航した際に加計呂麻島・請島・与路島(以下、「3島」という。)へ生活物資等を運ぶ手段がなくなってしまう。また、3島で生産された農林水産物を出荷する際、奄美大島へ輸送する費用がさらに加算されるため島内消費に留まっている。そこで、地理的不利性を是正し3島の地域経済を活性化させるために、新技術を導入し新たな生活スタイルを確立させる必要がある。		
具体的な施策内容	・「ドローンを活用した持続可能な地域づくり協議会」運営として、報償費(71千円)、普通旅費(270千円)、食糧費(4千円) ・「ドローン活用に向けたワークショップ」として、講師謝金(20千円)、車両船舶借上料(6千円) ・「瀬戸内町エアモビリティ事業推進協議会」運営として、負担金(30,000千円) ・全体の事業概要をまとめた資料作りとして、委託料(297千円)		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	18	事業	2	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
7		講師謝金				20	001	地方創生臨時交付金				30,668					
7		報償費				71											
8		普通旅費				270											
10		食糧費				4											
12		委託料				297											
13	001	車両船舶借上料				6											
18	001	負担金				30,000											
計						30,668	計						30,668				

【評価】

●昨年度、町及び日本航空株式会社をはじめとする4社で「ドローン活用に向けた連携協定」を締結(R2.10月)した。また、地元の意見を本事業に反映させるため、「ドローンを活用した持続可能な地域づくり協議会」の設立(R3.1月)、連携協定に基づいて「瀬戸内町エアモビリティ事業推進協議会」を設立(R3.2月)し、本事業を推進した。R3.3月に町民の意見を集約するため、「ドローン活用に向けたワークショップ」を実施した。さらに、町内事業所へのヒアリングを行った。
 令和3年度は、昨年度の協議内容等を踏まえ、当事業をより具体的に推進していくために、「ドローンを活用した持続可能な地域づくり協議会」及び「瀬戸内町エアモビリティ事業推進協議会」と連携し、取り組んでいく。

令和2年度 主要施策の成果に関する調

～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	総務課	係名	危機管理係
----	-----	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	19	防災活動支援事業	
施策の目的	台風・大雨時には停電が長期化する。このため、避難所の衛生管理や避難者の健康観察等を目的に非常用電源を確保する必要がある。併せて避難所での熱中症対策及び換気を目的に大型扇風機の整備を行う。		
具体的な施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・発電機46台(4,953,740円)を購入 ・大型扇風機10台(137,500円)を購入 発電機については、町内38集落に配備し、残り8台を古仁屋地区の避難所用として整備した。 ・大型扇風機については、古仁屋地区の避難所用として整備した。		

【経費内訳】

款	9	項	1	目	5	事業	3	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額		細節	費目名								
17	16	発電機購入費				4,954		11	地方創生臨時交付金				5,000				
17	68	大型扇風機購入費				138											
									(一般財源)				92				
		計				5,092			計				5,092				

【評価】

●発電機並びに大型扇風機の配備により、避難所において長期化する停電対策として非常用電源が確保された。また、避難者の衛生管理や感染予防対策が図られ、併せて感染リスクの軽減に繋がった。今後においても、地域の防災活動支援及び避難所の環境整備の確立に努めていく。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	総務課	係名	危機管理係
----	-----	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	20	避難所における感染防止対策用物資・資材の備蓄支援事業	
施策の目的	避難所における公共空間での感染機会の削減に努め、避難者間のスペースを確保し感染防止対策を図ることを目的とする。		
具体的な施策内容	・消毒液60本(127,000円)を購入 ・避難所用間仕切り、簡易ベット各20組(768,900円)を購入 ・非接触型体温計2本(30,800円)を購入 ※避難所における感染防止対策用物資等を各避難所用として整備した。		

【経費内訳】

款	9	項	1	目	5	事業	4	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
10	1	消耗品費				880	11	地方創生臨時交付金				800					
11	1	運搬費				47											
								(一般財源)				127					
		計				927		計				927					

【評価】

●避難所における感染防止対策用物資の整備により、避難者の衛生管理や感染予防対策が図られ、併せて感染リスクの軽減に繋がった。今後においても、避難所における住民の感染防止対策に努めていく。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	農林課	係名	営農畜産係
----	-----	----	-------

事業名	21	畜産経営安定対策事業
施策の目的	新型コロナウイルス感染症の影響は、地域経済の幅広い分野まで拡大しており、本町畜産農家も販売価格の急減など、影響を受けた。経済的打撃を受けた畜産農家に対するの助成措置であり事業の継続を支えるものである。	
具体的な施策内容	牛肉及び豚肉の需要減退で取引価格が下落するなか、経営の安定化に資する取り組みとして濃厚飼料等の購入に係わる経費を実態に応じて交付する。	

【経費内訳】

款	6	項	1	目	8	事業	5	(単位:千円)	款		項		目		節		(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	2	畜産経営安定対策事業				11,281		地方創生臨時交付金				11,281					
		計				11,281		計				11,281					

【評価】

- 対象者22戸に対し、17戸の方に補助金を交付した。
対象外になった5戸については、令和元年より令和2年の売上が多かった方が4戸
元年、2年ともに販売実績が無かった方が1名であった。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	水産観光課	係名	世界自然遺産せとうち町対策室
----	-------	----	----------------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	22	持続可能な自然環境形成事業	
施策の目的	「コロナ拡大防止期」におけるエコツアーガイド事業者等による国立公園及び観光地内等町内一円における外来植物の侵入状況の調査や防除、地域住民等への啓発活動を実施してもらうことで、自然環境・生態系の保全と魅力向上を図り、「収束期」において美しい自然資源を有効活用した自然体験型観光メニュー利用の満足度向上により観光客の誘客・滞在促進を目的とする。		
具体的な施策内容	(1)実施計画策定 ①ツアーガイドや専門家等と連携・協議し計画及び参加者リストを作成 (2)特定外来生物及び緊急対策外来生物の侵入(分布)調査 ①ツアーガイドや専門家と連携協力して町内の特定外来生物及び緊急対策外来種の分布調査を実施 ②調査した外来種の分布図の作成 ③調査する外来種 (ツルヒヨドリ、オオキンケイギク、ボタンキクサ、オオフサモ、アメリカハマグルマ、ムラサキカニコウアザミ、セイタカアワダチソウ) (3)特定外来生物及び緊急外来種の防除 ①外来種分布図を基にエコツアーガイド、集落や各団体と連携協力して外来種防除 ②協力団体や地域住民に対して啓発活動の実施 (4)モニタリング(実施前、実施後のレポート等)		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	15	事業	3	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
12	337	委託費				11,295	11	地方創生臨時交付金				11,295					
計						11,295	計						11,295				

【評価】

●国立公園及び観光地内等町内一円における外来植物の侵入状況の調査や防除、地域住民等への啓発活動を実施したことで、自然環境・生態系の保全と世界自然遺産登録への取り組み、外来種対策等啓発を図ることができ、外来種分布マップの作成及び「コロナ拡大防止期」におけるエコツアーガイド事業者等の雇用促進を図ることができた。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	水産観光課	係名	観光振興係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	23	奄美シーカヤック大会応援事業	
施策の目的	2020奄美シーカヤックマラソンIN加計呂麻大会が中止になったことで、来年度の参加者の減が懸念されるため、来年度の参加者を増やすことで町の活性化に資することを目的とする。		
具体的な施策内容	宣伝旅費 387千円 シーカヤックマラソン大会コースPV作成委託料 998千円 新型コロナウイルス感染拡大により、県外へのPR活動は自粛し、鹿児島空港でのPR活動及び県内協賛企業への協賛の依頼を行った。また、奄美群島(徳之島・沖永良部島・与論島)で、各役場、観光協会等へ大会の周知を依頼した。		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	3	事業	2	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額				
8		旅費				387		11	地方創生臨時交付金				1,384				
12	335	シーカヤックPV作成委託料				998			一般財源				1				
計						1,385		計						1,385			

【評価】

●鹿児島空港や、県観光協会などでPR活動を行うとともに各協賛会社へ、来年度の協賛依頼を行った。
 また、シーカヤックのコース案内PVを作成し、多くの方に情報発信をしたことにより、令和3年度の奄美シーカヤックマラソン大会への参加者が増加することが期待できる。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	水産観光課	係名	観光振興係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	25	移動者・帰省者・居場所づくり創出事業	
施策の目的	海外や県外にいた家族などが地元へ帰省した際に、同居する家族や地域を守るため、一時的に宿泊施設等に滞在する場合に、本町がその施設等を借り上げて提供、または宿泊費等を助成し、宿泊産業の支援と帰省する家族等の居場所づくりを創出する。(医療者・医療従事者含む)		
具体的な施策内容	宿泊費用、消毒液の購入費へ充当 5,000円×4日が1セットの50セット 一人あたりの上限を20,000円とし、宿泊費の80%を助成 令和2年度実績 1件 2人 43,000円 事務手数料100,000円		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	3	事業	3	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	180	補助金				144	11	地方創生臨時交付金				1,000					
		R3への繰越額				856											
計						1,000	計						1,000				

【評価】

●新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的とした、移動者帰省者・医療関係者の居場所づくり創出を目的に宿泊の助成を実施してきたが、コロナウイルス感染症拡大により利用が多くなかった。856千円を次年度への繰越とし、引き続き目的達成に向け、対応して参りたい。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	保健福祉課	係名	庶務・医事
----	-------	----	-------

会計区分	特別会計	会計名	瀬戸内町巡回診療施設特別会計
事業名	28	地域の感染状況を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業	
施策の目的	発熱外来の設置や施設整備を行い、医療機関体制の構築を図る。		
具体的な 施策内容	備品購入費(予備用気体酸素)990千円 医療ガス配管端末機交換工事415千円 施設延命対策 (雨漏り対策11,290千円・エレベーター工事13,420千円) 施設延命計画策定2,640千円 施設経営改善等対策3,355千円		

【経費内訳】

款	1	項	1	目	1	事業	1	3	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)	
歳出内訳										歳入内訳									
節	細節	費目名				金額				細節	費目名								
10	5	修繕料				415				011	地方創生臨時交付金				32,110				
14	1	工事請負費				13,420													
17	1	医療機器購入費				990													
12	30	施設経営改善対策委託料				3,355													
12	31	施設延命計画策定委託料				2,640													
12	32	防水設計委託料				495													
		R3への繰越額				10,795													
計										計									
										32,110									

【評価】

●本事業の実施により、へき地診療所の安全対策・経営計画が図られた。
【R3への繰越事業となる。】

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	社会教育課	係名	図書館
----	-------	----	-----

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	29	図書館サービスの充実	
施策の目的	感染症予防対策として、「読書環境の整備」を実施。また、在宅で過ごす時間を豊かなものにし、「新たな生活様式」に対応するため、蔵書を増やし、宅配(郵送)による貸出実施や貸出文庫等の充実を図ることを目的とする。		
具体的な施策内容	・図書購入費(1,067千円) ・図書除菌機購入(1,191千円) ・書架(204千円) ・新聞閲覧(116千円) ・間仕切り(128千円) ・来館者用マスク(26千円) ・手指消毒用エタノール(30千円) ・図書返却ポスト(36千円) ・図書の宅配(21千円)		

【経費内訳】

款	10	項	5	目	3	事業	2	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名									
10	001	消耗品費				92	011	地方創生臨時交付金				2,819					
11	001	通信運搬費				21											
17	006	図書購入費				1,067											
17	069	書架購入費				204											
17	070	新聞閲覧台購入費				116											
17	071	間仕切り購入費				128											
17	072	図書殺菌機購入費				1,191											
計						2,819	計						2,819				

【評価】

●読書環境を整備したことにより、利用者が安心して図書館を利用できる環境を作ることができた。特に「図書除菌機」とコロナで休館したときの「図書の宅配サービス」は喜ばれた。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	水産観光課	係名	世界自然遺産せとうち町対策室
----	-------	----	----------------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	30	飲食店応援！エコ素材PR事業	
施策の目的	町内飲食店に、国産間伐材を利用した割り箸やバガストレー（容器）を提供し、感染症対策への支援を図るとともに、世界自然遺産登録を目指している奄美大島で、森林保護及び地球温暖化防止につながるエコ素材の利用推進を図り、「自然保護」の取り組みを町内外へPRする。 ※バガストレー…バガス（サウキビの搾りカス）を原料としたバルブを溶かして型に入れ、すき上げて作る紙の食品容器。		
具体的な 施策内容	町内飲食店事業所（特にテイクアウトを展開している事業所）に対して説明会を開催し、アンケートにより「バガストレーと国産割りばし」を希望事業者へ無料配布した。併せて、チラシを配布し目的のPRに努めた。 町内「35」事業所 （バガストレー 一式） ①B001 バガスモールドランチボックス600ml 11,200個 ②SBT22.6cm 角三区切りバルブトレイ4,200個 ③SBT-pp蓋22.6cm角バルブトレイ 4,200個 ④SBT-ロック付きバルブ容器 680ml/2400z 5,000個 （国産割りばし） ①12,000本		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	15	事業	2	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
7	1	報償費				10	11	地方創生臨時交付金				1,491					
10	1	需用費				1,461											
11	1	役務費				20											
		計				1,491		計				1,491					

【評価】

●町内飲食店に、国産間伐材を利用した割り箸やバガストレー（容器）を提供し、感染症対策への支援を図るとともに、世界自然遺産登録を目指している奄美大島で、森林保護及び地球温暖化防止につながるエコ素材の利用推進を図り、「自然保護」の取り組みを町内外へPRすることができた。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	町民生活課	係名	戸籍住民係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	31	窓口申請支援システム整備事業	
施策の目的	新しい生活様式に対応できるよう窓口手続きのスマート化、デジタル化を推進し、住民の負担を軽減するとともにクラスター感染の防止等コロナ拡大を可能な限り抑えることを目的とする。		
具体的な施策内容	・ハードウェア費377千円 ・ソフトウェア費240千円 ・システムセットアップ費188千円 ・帳票セットアップ費75千円 ・運送費59千円 ・消費税94千円		

【経費内訳】

款	2	項	3	目	1	事業	2	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額		細節	費目名				金額				
12	334	窓口申請支援システム整備事業				0		11	R3への繰越額				1,033				
		R3への繰越額				1,033											
計						1,033		計						1,033			

【評価】

●R2年に帳票の選択等を行い業務委託契約を結んだ。コロナ禍の影響等により機器の確保等が困難なため、R3年への繰り越しとなった。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	商工交通課	係名	商工交通係
----	-------	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	32	令和2年度瀬戸内町商工会プレミアム商品券事業	
施策の目的	域内での消費喚起を目的に当初のプレミアム率10%から40%上乗せした50%のプレミアム率で商品券を販売することにより、地元消費拡大、地域の経済活性化を図る。		
具体的な施策内容	≪発行総額≫30,000千円(原資20,000千円にプレミアム率50%、10,000千円を加算した金額、1冊¥7,500分の商品券を¥5,000、4,000冊販売)		

【経費内訳】

款	7	項	1	目	2	事業	1	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳									歳入内訳								
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
18	2	補助金				10,600	11	地方創生臨時交付金				10,600					
計						10,600	計						10,600				

【評価】

●新型コロナウイルス感染症による影響で、イベント等を中止せざるを得なかったが、プレミアム率50%のプレミアム商品券の発行により地域内資金循環を促し、地域振興活性化へ寄与することができた。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	農林課	係名	農政係
----	-----	----	-----

事業名	34	瀬戸内町ストグRESET ～コロナに負けるな～ 特産品PR事業
施策の目的	コロナの影響による長期間の来島自粛要請発令に際し、島外の方々のご協力で奄美での感染者は少人数で抑えることができ、また自粛要請解除となった現在も来島者の感染防止対策にて、感染者の増加は抑えられている。この感染防止対策に対する協力のお礼とこれからの更なる協力の依頼を行うことで、奄美大島(瀬戸内町)へのコロナウイルスの侵入を防ぎ、安心して来島していただき、地域経済の活性化を図る。また、故郷への帰省を自粛し頑張っている学生を対象に本町の特産品をお届けする事によって、郷土愛を高め、将来地元の為に活躍する人材を創る。	
具体的な施策内容	①R3.1.1現在瀬戸内町の住民基本台帳に記録されている保護者がいる島外在住の学生(大学生・短大生・専門学生・高等専門学生・大学院生・専修学校生)に特産品を送り応援。②町内にある宿泊施設に滞在し、感染防止対策への協力と来島へのお礼の気持ちを込めて、特産品を送り感謝とPRを図る。	

【経費内訳】

款	6	項	1	目	4	事業	10	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額			細節	費目名				金額			
12		特産品PR委託料				1,995			11	地方創生臨時交付金				5,000			
		R3年度への繰越額				3,005											
計						5,000			計						5,000		

【評価】

●奄美せとうち地域公社を委託先として決定し、送付の品、特産品等の選定作業と募集期間についてでの設定を行った。また、宿泊施設へ島外宿泊者への事業内容の説明と送付確認を依頼した。
(実績についてはR3年度への繰り越し事業となる。)

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	総務課	係名	人事行政係
----	-----	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	35	感染拡大防止対策事業	
施策の目的	会議等における感染症予防のための資材を購入し、飛沫拡散を防ぐことで感染拡大防止対策を図る。		
具体的な施策内容	アクリル板のパーテーション購入費とする。 ※アクリル板(3面)×35個×6,380円=223,300円		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	1	事業	2	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)	
歳出内訳									歳入内訳									
節	細節	費目名				金額				細節	費目名							
10	1	消耗品費				224				11	地方創生臨時交付金				0			
											(一般財源)				224			
計									計									
									224									

【評価】

●アクリル板のパーテーション購入したことで議会や会議室での飛沫防止の安全策が取れるようになった。

令和2年度 主要施策の成果に関する調
～新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連事業～

課名	総務課	係名	人事行政係
----	-----	----	-------

会計区分	一般会計	会計名	
事業名	36	議会議場設備更新事業	
施策の目的	議会議場の分散化を図るため、既存のアナログ設備をデジタル化し、議会の動画配信においてクリアな映像と音声を届け、議場における傍聴者の削減による3密対策及び町民の安心と安全な環境を確保する。また、議員等へタブレットを配布することで委員会等のリモート化を促進し、密を防ぐことで感染症対策を図る。		
具体的な施策内容	議場のデジタル化への環境整備費・議員等へのタブレット購入費 ・議員用iPad10台 ・執行部用iPad23台 ・議場内のマイクや映像配信用のカメラの更新		

【経費内訳】

款	2	項	1	目	1	事業	2	(単位:千円)	款	14	項	2	目	1	節	1	(単位:千円)
歳出内訳								歳入内訳									
節	細節	費目名				金額	細節	費目名				金額					
		R3への繰越額				22,229	11	地方創生臨時交付金				22,000					
								(一般財源)				229					
計						22,229	計						22,229				

【評価】

令和3年度からは、議会の動画配信においてクリアな映像と音声を届け、議場における傍聴者の削減による3密対策及び町民の安心と安全な環境を確保する。
また、議員等へタブレットを配布することで委員会等のリモート化を促進し、密を防ぐことで感染症対策を図る。

